

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2016年8月4日

高齢者向け赤ちゃんロボット

「スマイビ S」を販売

- ニュー・ライフ・フロンティア「有料老人ホーム・介護情報館」の館長が監修したロボット
- 認知症の予防効果が期待される「お世話をしたくなる」赤ちゃんロボットとして訴求

ミサワホームグループで高齢者の住まいに関する情報提供と相談業務を手掛ける株式会社ニュー・ライフ・フロンティア（本社 東京都中央区／代表取締役社長 吉田肇）は、認知症予防や健康寿命の伸長などが期待される赤ちゃんロボット「スマイビ S」を、今月より高齢者や介護事業者向けに販売します。

近年、癒しの創出や高齢者の介護支援といった目的でさまざまなロボットの開発が進んでおり、高齢者向けコミュニケーション型ロボットの市場規模は、2021年には14年比3.4倍の17億円に達するとみられています*1。

「スマイビ S」は1歳前後の乳児を想定して開発した赤ちゃんロボットで、他の高齢者向けロボットとは異なり、あえて会話機能を持たせていない点が特長の一つです。実際の赤ちゃんの笑い声や泣き声を使用しているため癒し効果が期待できるほか、「スマイビ S」の表情や声などからその感情を自分なりに解釈したり、「お世話をしたい、面倒を見なくてはならない」という意識が芽生えたりすることによって認知症予防にもつながるよう開発しました。被験者向けに実証した結果、認知症を進行させる要因の一つである「うつ状態」の改善が見られました*2。

「スマイビ S」にはマイクや加速度センサーが内蔵されており、使用者の声の様子や抱き方に応じて笑ったり泣いたり、首を振ったり、くしゃみをしたりとさまざまな反応をします。また、実際の乳児よりも軽く小さいサイズにすることで、高齢者でも抱きやすい工夫を施しています。付属のアダプタを耳に差し込むだけでバッテリー充電ができたり、ダイヤル式のつまみで電源のオンオフや声の大きさ調整ができるなど、操作性にもこだわりました。

「スマイビ S」は、ニュー・ライフ・フロンティアが運営する「有料老人ホーム・介護情報館」の館長である中村寿美子が監修を手掛けました。介護業界において25年にわたる豊富な経験をもつ中村は、その経験をベースに高齢者が求めるニーズを「スマイビ S」に数多く盛り込みました。なお、製造は自動車部品メーカーとして高い品質管理体制を持つ株式会社東郷製作所（本社 愛知県愛知郡東郷町／代表取締役社長 相羽繁生）が担当します。

ミサワホームグループは20年以上にわたり介護施設的设计・建設から運営、コンサルティングまで幅広く介護事業に取り組むとともに、積極的な産学連携研究や緊急通報システム「押すだけコール」の開発・販売などを通じて高齢者の生活の質の向上に貢献してきました。赤ちゃんロボット「スマイビ S」の販売により、これらの取り組みを一層推進していく考えです。

※1：株式会社富士経済「Welfare 関連市場の現状と将来展望 2016」より

※2：中京大学工学部 加納政芳教授と東郷製作所が産学連携により実施した開発段階での実証評価より

■「スマイビ S」の主な機能



■紹介動画

<http://www.kaigo-jyoho-kan.com/about/column.html>

■製品概要

サイズ：H440×W200×D190 (mm)

重量：約 1.2kg

消費電力：約 2.5W

電源：リチウムイオンバッテリー（充電式）

動作時間：約 10 時間（満充電時のバッテリー駆動時間）

販売価格：税抜 140,000 円（税込 151,200 円、送料込）

■注文方法について

注文は下記にて承ります。

「有料老人ホーム・介護情報館」スマイビ S 担当窓口

TEL 03-6262-0791（受付時間：平日 10 時～18 時）

以上

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

中田義規 宮田智

TEL 03-3349-8088 / FAX 03-5381-7838 E-mail : Satoshi_Miyata@home.misawa.co.jp